

World News

ロケット打上げ記事

1. H- IIA ロケット 1号機 打上げ成功

宇宙開発事業団 (NASDA) は 8 月 29 日午後 4 時に種子島宇宙センターから「H- IIA ロケット 1号機」の打上げに成功しました。



- H-IIA 試験機 1号機打上げ-NASDA 提供-

H-IIA 試験機 1号機は順調に飛行し、打上げ後、SRB-A、衛星フェアリング、第1段と次々と切り放し、予定どおり約 28 分後に第 2 段エンジンの 2 度目の燃焼を停止、約 39 分後に「レーザ測距装置 (LRE)」を分離し、打上げは成功しました。平成 11 年 11 月、H-IIA ロケット 8 号機の第 1 段による打上げ失敗から、LE-7A エンジンのトラブル多発と、成功までに 1 年半の茨の長い道程であった。 今回の打上げも当初 8 月 25 日の打上げ予定でしたが、第 2 段液体酸素の圧力調整弁の不具合があったことから延期されていた。

2. アリアンスペースは「Atlantic Bird TM 2 衛星」を 9 月 25 日 アリアン 4 フライト 144 で打上げに成功

- NASDA 2001.8.29 Press Release 記事 -

アリアンスペース社は、2001 年 9 月 25 日、現地時間午後 8 時 21 分 (GMT23 時 21 分) にギアナの宇宙センターから、Ariane 4 フライト 144 によって、ユーテルサット社の Atlantic Bird TM2 衛星の打上げに成功した。 フライト 144 は Ariane 4 ファミリーの Ariane44P タイプのロケットで 15 回目の打上げとなり、これが最後の打ち上げとなる予定である。

Flight 144:
Final Operations
for Atlantic Bird™ 2

A photograph of the Atlantic Bird TM2 satellite inside a cleanroom. The satellite is a large, rectangular black box with gold-colored thermal blankets wrapped around it. Two technicians in blue cleanroom suits are standing next to the satellite, which is mounted on a white support structure. The background shows the interior of a large industrial facility with metal scaffolding.

- Atlantic BirdTM2 Eutelsat 提供 -

また、Atlantic BirdTM 2 は、ユーテルサットの 15 機目の衛星である。衛星は Alcatel Space 社が製作した。同衛星は西経 8 度の静止軌道に配置され、南北アメリカ間及びヨーロッパと北アフリカ及び中東間の高速通信及び放送サービスを提供し、Atlantic BirdTM 2 は打上げ重量 3120 kg、Spacebus 3000B2 で寿命初期の発生電力は 6.49kW、26 の出力 107W Ku-バンドトランスポンダを装備しており、寿命は 12.5 年である。

- Ariespace 社 9 月 25 日プレスリリース記事 -

衛星関連ニュース

1 . JSAT PanAmSa 共同衛星事業を発表

JSAT 株式会社 (以下、JSAT、本社：東京都港区、代表取締役社長：吉田倬也) PanAmSat Corporation (以下、PAS、本社：米国) は、2001 年 8 月 1 日に次の 3 点で合意した事を発表した。

- (1) JSAT と PAS「Horizons Satellite」社を設立する。(2) 共同で衛星を調達する。
- (3) 西経 127 度 (予定) において Ku バンドによる衛星通信事業を行う。

JSAT と米国最大手衛星通信事業者である PAS は、約 1 億 US ドルを出資し、米国に第一種電気通信事業者の Joint Venture Company 「Horizons Satellite」(以下、Horizons) を設立、共同で Boeing 社の 601HP 型衛星を調達し、西経 127 度(予定) で日本・アジアと北米とを結ぶ国際衛星通信市場および北米衛星通信市場をターゲットとした共同衛星通信事業を展開する。これにより、JSAT は、アジアの衛星通信事業者ではじめて北米をカバーする衛星を保

有する事業者となる。これに伴い、JSAT は、米国デラウェア州に JSAT International Inc.(以下、JII) を設立し、JII は、Horizons から提供された衛星回線をもとにして、北米内のデジタル映像伝送、IP ベースのコンテンツ配信等を行う予定である。JII の代表取締役社長には、秋山政徳(現 JSAT 上級執行役員 開発本部長) が兼任する。

JSAT は、Horizons が所有する衛星で北米マーケットを対象としたビジネスを本格的に展開することで、日本を含むアジア地域から北米へと事業の地域を拡大する事でサービス開始 3 年後に 20 億円の売上を見込んでいる。

- JSAT 2001.8.1 Press Release 記事 -

2 . スペースシステムズ/ロラール(SS/L)は DIRECTV-7 衛星を受注

SS/L は地域ごとにチャンネルを持つ、新しいサービスを付加できる大容量高出力スポットビーム衛星「DIRECTV-7」を受注したと発表した。DIRECTV-7 は、2003 の後半に打上げられ、2003 年末にサービスインを予定している。DIRECTV-7 は DIRECTV-4 に続く DIRECTV ファミリーの 2 番目のスポットビーム衛星です。DIRECTV は現在 41 の首都地域でローカルチャンネルを提供している。DIRECTV-7 は、寿命初期に 13kW 以上の発生電力を生成し、西経 101 度の静止軌道又は、西経 119 度で運用を予定している。

DIRECTV-7 は、27 のビームに同報された高品質なデジタルビデオサービスのために最高 54 トランスポンダを提供できる。また、

別のコンフィギュレーションでは、30 のビームに同報された最高 44 のトランスポンダを提供できる。衛星は SS/L の 1300 衛星バスで、このバスは 15 年の設計寿命を持ち、Bipropellant 推進とモーメントムバイアスシステムの信頼性の高いプラットフォームである。また、高い効率の太陽電池アレーおよび軽量化バッテリーを採用している。SS/L は、Direct to Home(DTH)衛星の DIRECTV 6 と DIRECTV 5 も製作した。DIRECTV 5 は今年後半に打上げを予定されている。DIRECTV は、1000 万人以上の顧客をデジタル衛星放送の主要衛星サービスプロバイダーである。

- SS/L 2001.9.6 Press Release 記事 -

3. LMCSS GE-10,-11,-18 の 3 機の衛星を契約

ロッキードマーティンコマーシャルスペースシステム (LMCSS) は、GE アメリカコン社 (GE Americom) から 3 つの A210 衛星を契約した事を発表した。



- GE-10,-11 LMCSS 提供 -

次世代ケーブル・テレビ衛星は、GE-10、

GE-11、および GE-18 で、北米地域でケーブルテレビ配信に提供される。合計 3 機の衛星は夫々 24 本の 36MHz バンドの C バンドトランスポンダを搭載し米国 50 州、メキシコ、およびカリブ諸国へケーブル・テレビサービスを提供する。GE-10 は GE Satcom C-4 に取って代わり、GE-11 は GE Satcom C-3 と交代、西経 135 度および西経 131 度に夫々は位置される。GE-18 は、西経 131 または 135 度の衛星地上予備機として開発される。これら次世代衛星は高出力及び充分な冗長構成をセールストークとしている。

- LMCSS 2001.9.6 Press Release 記事 -